

令和7年第4回瑞浪市議会定例会一般質問要旨、質問順位表

令和7年9月25日(木)・26日(金)

順位	1	議席番号	3	質問者	奥村 一仁
標題1	乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の実施について				答 弁 者
要旨	ア 本市では、こども誰でも通園制度の実施方式についてどのように考えているか。				健康福祉部次長
	イ 本市では、利用時間及び利用料についてどのように考えているか。				
	ウ 一時預かり保育事業における年齢別の利用状況はどのようなか。				
	エ 一時預かり保育事業と、こども誰でも通園制度の棲み分け、併用についてどのように考えているか。				
	オ こども誰でも通園制度について、利用者の利便性を高め、園の事務負担が増加しないように実施できないか。				
	カ 新しく創設される制度であるため、対象者へ個別に周知を行ってはどうか。				

順位	2	議席番号	14	質問者	熊谷 隆男
標題1	市民が抱える危機感と不安について				答 弁 者
要旨	ア	これまでの自然災害対応（災害予防計画）はどのようなか。また、熱中症、倒木、路面凍結など新たな自然災害への予防対応はどのようなか。			理事（兼）総務部長
	イ	有害鳥獣対策で農地以外の河川、道路、宅地、建物、墓地等への対応はどのようなか。			理事（兼）経済部長 建設部長
	ウ	ここ数年の転出人口の詳細はどのようなか。定住施策を促進する上で新たな自然災害や有害鳥獣への本市独自の対応や対策が必要ではないか。			みずなみ未来部長
	エ	空き家対策は移住定住施策としての長期的継続事業なのか。それは、全地域の社会インフラや安全を長期的に継続維持することを担保（保証）するものか。			市長
	オ	中長期的計画として地域内コンパクトシティ化を検討してはどうか。それが本市のグランドデザインに繋がるのではないか。			

順位	3	議席番号	12	質問者	成瀬 徳夫
標題1	自然災害対策について				答 弁 者
要旨	ア ゲリラ豪雨による河川への流出量の増加と流下能力の不足をどのように受け止めているか。				建設部長
	イ 近年のゲリラ豪雨に対する対策の進捗状況はどのようなか。				
	ウ 河川の氾濫や法面崩壊における災害対策をどのように進めるのか。				

標題2	次世代エネルギーについて				答 弁 者
要旨	ア バイオコークスエネルギーについてどのように考えているか。				経済部次長
	イ 水素エネルギーについてどのように考えているか。				
	ウ 次世代エネルギーについて、行政として取り組む必要性をどのように考えるか。				
	エ 次世代エネルギーの取り組みについて、人材育成のために本市の職員を国の省庁へ派遣してはどうか。				市長

標題3	地方創生伴走支援制度について				答 弁 者
要旨	ア 地方創生伴走支援制度の受入体制はどのようなか。				理事（兼）経済部長
	イ 地方創生支援官は瑞浪市をどのように受け止めているか。				
	ウ 現在の進捗状況はどのようなか。				
	エ 今後の進め方については、担当課の体制強化が必要ではないか。				市長

順位	4	議席番号	10	質問者	大久保 京子
標題1	土岐橋及び周辺道路整備について				答 弁 者
要旨	ア 土岐橋架替工事の現状と延期の理由はどのようなか。				建設部長
	イ 今後の工事の工程はどのようなか。				
	ウ 市民への情報提供や周知方法はどのようなか。				
	エ 文化センター前線の道路が低い現状に対し、どのような対策を行うのか。				
	オ 土岐橋及び周辺道路整備完成後の効果はどのようなか。				

標題2	男女共同参画社会とフェムテック活用について				答 弁 者
要旨	ア 男女共同参画社会の施策において、女性の健康課題をどのように捉えているか。				みずなみ未来部長
	イ フェムテックの活用推進をどのように考えるか。				

順位	5	議席番号	5	質問者	柴田 幸一郎
標題1	地方創生2.0基本構想において、これまでの取り組みの課題とされた「人口減少を受け止めた上での対応の不足」について				答 弁 者
要旨	ア 地方創生伴走支援制度にどのような課題を提示したのか。				みずなみ未来部長
	イ 関係人口の拡大と管理をどのように行っているのか。				
	ウ より関わりの深い関係人口を増やすために、出身者等とのコミュニケーションを向上させてはどうか。				
	エ 担い手不足を考慮して、外国人と共生できる社会づくりが必要と考えるがどうか。				
	オ 移住者の増加対策よりも、地域住民の意欲の向上と仲間意識の向上が必要ではないか。				

順位	6	議席番号	7	質問者	辻 正之
標題1	高齢者の介護予防・生きがいつくりについて				答 弁 者
要旨	ア 高齢者就業機会確保事業の取り組みはどのようなか。				健康福祉部長
	イ 高齢者安心支えあい事業（ささエールポイント制度）の見直し内容とその後の状況はどのようなか。				
	ウ 閉じこもり等を予防するための「通いの場」や「地域で集える場」の活動支援の状況と今後の取り組みはどのようなか。				
	エ 介護予防教室の男性参加者を増やす取り組みを行ってはどうか。				

標題2	公共交通システムの強化				答 弁 者
要旨	ア デマンド交通「いこCar」運行を利用する交通弱者の方にどのように配慮をしているか。				理事（兼）経済部長
	イ 「いこCar」の観光用ルートを今後増やしてはどうか。				
	ウ 「いこCar」のWeb及びLINE予約、時刻表へ観光マップのQRコード貼付を行ってはどうか。				
	エ 停留所の安全点検をしてはどうか。				
	オ 名称が不適切と思われる停留所があるがどうか。				
	カ 停留所の設置要件により適正に設置できているか確認してはどうか。				

順位	7	議席番号	13	質問者	榛葉 利広
標題1	選挙における投票率の向上と投票支援について				答 弁 者
要旨	ア 直近の参議院選挙における期日前を含めた選挙の執行状況はどのようなか。				選挙管理委員会書記長
	イ 期日前投票の率が上がっているが、どのような工夫がなされたか。				
	ウ 障がい者や高齢者への配慮はどのように行われているか。				
	エ 投票支援カードやコミュニケーションボードの導入についてどう考えるか。				

標題2	市役所業務へのD Xの積極的活用について				答 弁 者
要旨	ア A Iチャットボット、R P A等、A Iを活用した業務の導入効果はどのようなか。				みずなみ未来部長
	イ A Iがもたらす職員の労働環境改善や市民サービスへの反映はどのようなか。				
	ウ 個人情報保護やセキュリティー対策はどのように担保されているか。				
	エ 市役所業務にも配慮した、生成A Iの活用を検討してはどうか。				
	オ 都城市の「D Xチャレンジプロジェクト」を参考に、先端技術を取り入れる事業にチャレンジしてはどうか。				市長

順位	8	議席番号	4	質問者	棚町 潤
標題1	災害時のペット避難について				答 弁 者
要旨	ア 飼育ペットの種類及び頭数を把握しているか。(犬・猫・その他)				経済部次長
	イ 災害時のペット避難に対するニーズを把握しているか。				
	ウ ペットが避難できる場所は選定されているか。				
	エ ペット避難における必要物資の準備について本市の考えはどのようなか。				
	オ 市民への周知や啓発はどのようなか。				

順位	9	議席番号	8	質問者	樋田 翔太
標題1	リニア中央新幹線工事による影響について				答 弁 者
要旨	ア 地下水位低下の状況はどのようなか。				みずなみ未来部長
	イ 代替水源の整備状況はどのようなか。				
	ウ 地盤沈下の状況はどのようなか。				
	エ 公共施設等への影響はどのようなか。				
	オ 市の支援体制はどのようなか。				市長

順位	10	議席番号	6	質問者	三輪田 幸泰
標題1	プール授業と施設について				答 弁 者
要旨	ア 小学校のプール施設の現状はどのようなか。				教育委員会事務局長
	イ 小学校のプール授業の現状はどのようなか。				
	ウ 使用していないプール施設についてどのように考えているか。				

順位	11	議席番号	9	質問者	渡邊 康弘
標題1	未来を見据えた、規則・制度の整備について				答 弁 者
要旨	ア 65歳までの定年引上げの実施における管理監督職勤務上限年齢制（60歳で非管理職に異動させる制度）について、瑞浪市の現状はどのようなか。				副市長
	イ 理事職の設置目的と特命事項の達成状況はどのようなか。				
	ウ 60歳超の職員を管理職へ配置する現在の体制についてどのように考えているか。				市長

標題2	小・中学校における熱中症対策について				答 弁 者
要旨	ア 熱中症予防に関する教育・啓発と対策はどのようなか。				教育委員会事務局長
	イ 猛暑の常態化に備えるため、中長期的な対策の再検討が必要ではないか。				教育長